『ラテン語のしくみ《新版》』収録音源

吹込：Michael Stein（ミヒャエル・シュタイン）

番号		
1	Festīnā lentē!	ゆっくり急げ.
2	Nōn omnia possumus omnēs.	我々は皆万能ではない.
3	Repetītiō est māter studiōrum.	繰り返しは学習の母である.
4	Cōgitō ergō sum.	我思う，ゆえに我あり.
5	Vēnī, vīdī, vīcī.	私は来た，見た，勝った.
6	Jacta ālea est.	賽は投げられた.
7	Quō vādis?	あなたはどこへ行くのか.
8	Cultūra animī philosophia est.	精神を耕すことが哲学である.
9	Salvē! / Deī tē ament.	こんにちは.
10	Quid agis? (Ut valēs?) / Bene.	ご機嫌いかがですか. / 良いですよ.
11	Valē!	お元気で.
12	Grātiās agō. / Grātiam habeō.	ありがとう.
13	Hannibal Poenus est.	ハンニバルはカルタゴ人です.
14	Hīc canis est. / Canis hīc est.	ここに犬がいる. / 犬がここにいる.
15	Hannibal Poenus est? / Est.	ハンニバルはカルタゴ人ですか./はい.
	Hannibalne Poenus est? / Est.	ハンニバルはカルタゴ人ですか./はい.
16	Num Atticus legit?	アッティクスは読んでいるだろうか.
17	Caesar Poenus est?	カエサルはカルタゴ人ですか.
	Nōn est.	いいえ，違います.
18	Nōnne Atticus legit?	アッティクスは読んでいるではないか.
19	Atticus legit neque scrībit. / Atticus legit nec scrībit.	アッティクスは読んでいて, 書かない.
20	Quid Atticus agit?	アッティクスは何をしているのですか.
21	Quis est?	誰がいますか.
22	Ubi Atticus est?	アッティクスはどこにいますか.
23	Quandō Atticus venit?	いつアッティクスは来るのですか.

24 Cūr Atticus nōn venit? なぜアッティクスは来ないのですか.

25 Quōmodo Atticus valet? アッティクスはどうしていますか.

26 Cicerō edit et bibit. / Cicerō edit bibitque. キケローは食べ, そして飲む.

27 Atticus legit an scrībit? / Atticusne legit an scrībit?
アッティクスは読んでいるのか，それとも書いているのか.

28 Hannibal Poenus est, sed Scīpiō Rōmānus est.
ハンニバルはカルタゴ人だが，スキピオはローマ人だ.

29 Haec schola est. / Ista schola est. / Illa schola est.
これ / それ / あれは学校です.

30 Hoc vīnum meum est. これは私のぶどう酒です.

31 Hoc meum est. これは私のです.

32 Hic liber bonus est. これはよい本だ.

33 Haec canīcula lepida est. これはかわいい子犬だ.

34 Hoc pōmum bonum est. これはおいしい果実だ.

35 Ambulō. / Ambulās. / Ambulat. 私 / あなた / 彼（彼女）は散歩する.

36 Videō. / Vidēs. / Videt. 私 / あなた / 彼（彼女）は見る.

37 Dīcō. / Dīcis. / Dīcit. 私 / あなた / 彼（彼女）は言う.

38 Faciō. / Facis. / Facit. 私 / あなた / 彼（彼女）は作る.

39 Audiō. / Audīs. / Audit. 私 / あなた / 彼（彼女）は聞く.

40 Eō. / Īs. / It. 私 / あなた / 彼（彼女）は行く.

41 Poenus es? / Poenus sum. あなたはカルタゴ人ですか. / 私はカルタゴ人だ.

42 Ambulāre volō. 私は散歩したい.

43 Vidēre volō. / Dīcere volō. / Audīre volō.
私は見たい / 言いたい / 聞きたい.

44 Bonus esse volō. 私は善人でありたい.

45 Vīvere cōgitāre est. 生きることは考えること.

46 Pluit. / Fulget. / Ningit. 雨が降る. / 稲妻が光る. / 雪が降る .

47 Ambulābam. / Ambulābās. / Ambulābat.
私 / あなた / 彼（彼女）は散歩していた.

48 Nauta eram. 私は船乗りだった.

49 Ambulāvī. 私は散歩した.
50 Ambulāvistī? あなたは散歩しましたか.
51 Ambulāvit. 彼（彼女）は散歩した.
52 Ambulem. 私は散歩しよう.
53 Ambulēs. あなたに散歩してもらいたい.
54 Ambulet. 彼（彼女）は散歩すべきだ.
55 Utinam ambulārēs! あなたが散歩してくれるとよいのだが.
56 Ambulā! / Vidē! 散歩してください. / 見てください.
57 Vīs ambulāre? / Vīs vidēre? 散歩してもらえますか. / 見てもらえますか.
58 Nōlī ambulāre! / Nōlī vidēre! 散歩しないでください. / 見ないでください.
59 Ambulātum eō. 私は散歩しに行く.
60 Vīsum venīs? あなたは見に来ますか.
61 Ambulābō. / Ambulābis. / Ambulābit.
私 / あなた / 彼（彼女）は散歩するだろう.
62 Dīcam. / Dīcēs. / Dīcet. 私 / あなた / 彼（彼女）は言うだろう.
63 Iūlia Mārcum vīdit. ユーリアはマールクスを見た.
64 Mārcus Iūliam vīdit. マールクスはユーリアを見た.
65 Mārcus templum vīdit. マールクスは神殿を見た.
66 Mārcus agricultūrae studet. マールクスは農業にいそしんでいる.
67 Mārcō fīlia est. マールクスには娘がいる.
68 Eī pōmum dō. 私は彼（彼女）に果実をあげる.
69 Mihi pōmum dās? あなたは私に果実をくれますか.
70 Tibi pōmum dō. 私はあなたに果実をあげます.
71 Mārcum grammaticam doceō. 私はマールクスに文法を教える.
72 Fīlius meus venit. 私の息子が来る.
73 Fīlium meum dūcō. 私は，私の息子を連れて行く.
74 Nōmen fīliī meī Mārcus est. 私の息子の名前はマールクスである.
75 Fīliae meae pōmum dō. 私は，私の娘に果実をあげる.
76 Ō Mārce! おお，マールクスよ.
77 Et tū Brūte! ブルートゥスよ，お前もか.

78	Gladiō pūgnat.	彼は剣で戦う.
79	Mēnsam rosā ornō.	私は机をバラで飾る.
80	Mārcus cum amīcō lūdit.	マールクスは友人と遊ぶ.
81	Mārcus ab oppidō venit.	マールクスが町からやって来る.
82	Rōmam eō.	私はローマに行く.
83	Mārcus ad oppidum venit.	マールクスが町に来る.
84	Ante domum sum.	私は家の前にいる.
85	Canīcula post Mārcum est.	子犬がマールクスの後ろにいる.
86	In oppidō templum est.	町に神殿がある.
87	In oppidum frūmentum fert.	彼は町に穀物を運ぶ.
88	Mē miserum! / Mē miseram!	哀れな私！（男性 / 女性）
89	Mārcus auxiliō hīc vēnit.	マールクスはここへ援助にやって来た.
90	Rōmae sum.	私はローマにいる.
91	Ūnus, duo, trēs, quattuor, quīnque, sex, septem, octō, novem, decem.	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10.
92	Ūnum puerum vīdī.	私は 1 人の少年を見た.
93	Ūnam puellam vīdī.	私は 1 人の少女を見た.
94	Ūnī puerō pōmum dō.	私は 1 人の少年に果実をあげる.
95	Prīmā hōrā eō.	私は第 1 刻に行く.
	Prīmā vigiliā eō.	私は第 1 夜警に行く.
96	Appetītūs ratiōnī obēdiant.	欲望が理性に従いますように.
97	Quae sit sapientia dīsce legendō.	知とは何か, 読むことによって学べ.
	◇	
98	«Glōria»	
99	«Aenēis»	

98 番の『グロリア』の歌詩は 136-139 ページをご覧ください．99 番にはウェルギリウスの一大叙事詩『アエネイス』の冒頭を収録しましたが，テキストは掲載していません．ラテン語の響きそのものをお楽しみください．